

(オズリー)  
ガラスカッター「OZREE」  
90周年記念で先行限定販売

三星ダイヤモンド工業

三星ダイヤモンド工業  
(株) (大阪府摂津市、若林  
眞幸社長、略称MDI)



OZREE (オズリー)



カッターの刀先

は、10月1日(火)に創

業89年を迎えた。創業90

周年を控え、新たにガラ

スカッターの新ブランド

「OZREE」(オズリ

ー)を立ち上げた(以下

略)。B

to C向けの商品とし

て、創業以来のガラスカ

ッターにこだわりのつ

つ、現代にフィットした

スタイリッシュなデザイ

ンの機能を持たせたガラ

ス。

また、このほど創業90

周年記念商品として、マ

ットブラックとグロスフ

ラックの2種類の限定カ

ラーのカッターを先行限

定販売するほか、10月22

日(火)からドイツ・デ

ュッセルドルフ市で開催

される、世界最大のガラ

スの展示会「glass

tec2024」にも出

展する。

そこで、代表取締役社

長の若林眞幸氏と飯田事

業所生産技術課主任でオ

ズリー開発プロジェクト

チームリーダーの林眞平

氏に話を聞いた。

若林社長は「私が社長

に就任した、2023年

2月頃にスタートしまし

た。90周年を迎えるにあ

たり、創業時の商品のガ

ラスカッターに立ち戻り

たい。もう一度ガラスカ

ッターを見直して、新し

い価値を付加して90周年

の記念として世に出そう

と思いました。そこでM

DIの物づくりを受け継

いできた飯田工場のメン

バーに、プロジェクトチ

ームの話を持ちかけまし

た」と話す。

林氏は「20年近く勤め

ていますが、飯田工場で

プロジェクトをやるよう

な話は、過去にありませ

んでした。話を聞いてワ

クワクしたことを覚えて

います。興味本位でした

が、手をあげて(プロジ

エクトチームに)参加し

ました。最初は4人でス

タートし、専属のデザイ

ナーさんにも入ってもら

って、まずは見た目、デ

ザインにこだわろうと。

機能は当然ですが、「工

具だけどオシャレ」、

「見た目をカッコ良く」

するところから始まりま

した」と、開発当初の状

況を説明した。

そこから3Dプリンタ

ーを用いて試作を繰り返

し、約1年をかけてデザ

インを固めた。グリップ

部分はアルミを削り出

し、ダイヤモンドカット

加工を施すことで、手に

なじむ持ち心地を実現。

カッター部分は、視認性

を重視して従来品の様な

センターに近い部分から

持ち手の延長線上に配置

するように変更した。こ

れは、ステンドグラス作

家が下絵の上からガラス

をカットする際に、従来

品では下絵が見えにくい

との意見を得て設計され

た。また、女性の作家は

ガラスを押し切りするケ

ースが多いため、鉛筆の

ように力が伝わりやすく

なるように、工夫を重ね

た結果とのことだった。

「OZREE」(オズ

リー)のブランド名につ

いては、「O」(曲線)

も「Z」(直線)もフリ

ーにカットできるという

意味に加え、作家のイン

スピレーションを高め、

ストレスを減らすことで、

創造意欲を掻き立て、

「無」から「無限」の可

能性を引き出したいとの

願いを込めて名付けられ

た。

林氏は「ガラスカッター

としての大事な部分は

変えずに、デザインや機

能性をブラッシュアップ

して、今(現在)のガラ

スカッターが出来たと思

っています」と話す。

若林社長は「OZREE

Eは人を豊かにする人を

作る商品だと思っていま

す。アーティストさんが

作品を作るための作品を

作る企業を目指したい。

Bto Bでは、半導体や

太陽光パネルの部材な

ど、物質的な豊かさを技

術で支え、心の豊かさは

OZREEを核にして世

の中に貢献したい。この

2つが両立した状態を、

100年に向けて作って

行きたい」と語り、次の

10年に向けた考えを示し

た。